



みやこ型住宅ネットワーク 宮古・下閉伊・山田地域

[グループの特徴とメッセージ]

- みやこ型復興住宅は、森林所有者から木材業者及び建築業者が一体となり、県産材（特に宮古・下閉伊で生産される木材）を使用した地域資源循環型の復興住宅生産システムをつくり、地域の復興・発展に貢献することを目的とし、地域性を生かした健康で快適な住空間を提供します。

[地域型復興住宅のイメージと特徴]

地域材利用の家づくり

- 住宅の内部に地域材 南部アカマツを使い、温かみのある住空間を提供します。
- 柱・梁など木材をあらわしで使い、木のよさを感じるように設計しています。

宮古地方の温かな住まいづくり

- 宮古地方の気候風土にあった安全快適で長命な住まいづくりをめざしています。
- 住宅内部は可動間仕切りなどにより、広がりある空間となっています。
- 沿岸は日照時間が長いので開口を広くとる設計をしています。



グループの基本情報		地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
所在地	宮古市黒田町 2-27 ハウスリプラン内 加藤設計	主な構造・工法	木造軸組工法
グループ構成	合計 19 社（原木供給/4 社、製材/3 社、建材流通/1 社、プレカット/1 社、設計/3 社、施工/5 社、合板ボード/2 社）	価格帯	800~2,000 万円
代表者名	山内英彦（株式会社ヤマウチ 代表取締役社長）	価格の基準面積	130 m ²
主な受賞歴等	・平成 21 年地域木造住宅市場推進活性化事業採択 ・みやこ型住宅のシステム構築	価格に含まれない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費
連絡窓口	加藤 尚 [メール] K10arc@rondo.ocn.ne.jp [電話] 0193-62-4424 [FAX] 0193-63-5175	*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。 詳しくはお問い合わせください。	
ホームページ			